

令和 5 年度 第 2 回総社公民館運営推進委員会
開催結果概要

全ての協議事項について、承認されました。

意見及び質疑応答の概要は以下のとおりです。

(D 委員)

文化祭をはじめ、他の行事も 4 年ぶりの開催もあったが、非常にほぼ完ぺきで開催し、多彩の事業を展開されている。これらの事業の運営について、敬意を表したい。

今年は、秋元公歴史まつり等々があるので、地域全体の地域交流の場を一段と強めていただきたいと期待している。

今年の公民館活動について、大いに期待しているのでよろしくお願いします。

(B 委員)

4 親子の絆づくりプログラム”あかちゃんが来た”ですが、3 地区合同の開催ですが、国を挙げて子育て環境の整備等に取り組んでいるところですが、組数が 7 組であり、少ない印象がある。

3 地区合同実施ですが、これは、全部同じ会場で実施しているのかお聞きしたい。

(事務局)

実施場所については、1 回から 4 回まで、同会場で、清里公民館で開催した。

和室の広さの関係もあり、毎年、清里公民館で開催している。

(B 委員)

新しく総社地区に来た方は、横の繋がりがなく、特にお子さんを抱えた人にとっては、いい事業であり、なるほどと感心させられたので、これからも力を入れざるを得ない事業でもありますので、こういう事業こそ公民館で実施する必要性を感じている。

(A 委員)

いまの質問の関連ですが、子育て事業としては、今年度は、1 すすく教室を久しぶりに開催しましたが、昨年度は、開催予定であったが、コロナの感染が多くなった時だったので、お断りさせていただいた経緯もある。

今年度は、このような内容で開催していただきましたが、人数が、親子で 8 人(4 組)で、非常に少ない人数でした。保健推進員の託児対応人数の方が多かった。予め担当を割り振っていたので、10 人以上の保健推進員に対して子供が 4 人だったこともあり、とても手厚くみる事ができた。

ただ、コロナ前は、参加者も多かったと感じている。

極端に参加者が減っているのは、コロナの影響もあると思うのですが、一つは、子どもの人数自体が減少していること、もう一つは、対象が未就園児となっていて、お母さんが働いても働いていなくても早くから子供を預けることができる状況もあると思われる。そうすると、この対象年齢の親子がいないのではないかと感じている。

この事業は、とてもいい事業内容なので、対象年齢を下げるとか、募集地域を少し拡大することも必要でないかと思う。

今回も、参加者の中では10か月の子どもが参加しましたが、首が座っている年齢であれば、大丈夫と思われるので、例えば、6か月以降で、首が座っている子どもであれば対象とするとか。

せっかく実施するいい事業なので、多くの方に参加していただきたいので、その辺を、検討していただきたい。

(事務局)

今の意見については、来年開催に向けて、対象年齢等、検討させていただく。

(C委員)

民生委員でも、子育てサロンは開催しているが、参加者は3組等、少ない感じである。

縦割りで、いろいろなところで、子育ての教室等を開催しているようにも思えるので、1本化して、月に1回開催するなどしたらいいと思うが、難しいのでしょうか。

未満児とかでも、母親は働いている方が多いので、家にいる方は少ないですから、公募だけではなく、いろいろな所で周知する必要性を感じる。

例えば、ベビープログラムでは、対象が、第1子となっているが、その条件等の変更も必要ではないかと、二人目でも対象とする等検討してほしい。

(事務局)

3館合同の事業であり、今後、検討していきたい。

以前は、参加者も多く、第1子に限定していたことも考えられるので、参加者が少ない状況のなかで検討する必要性はあると感じている。